

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	Evidence Based Disign 小委員会		主 査 名：那須 聖 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (設計計画・構法計画運営委員会)		委員長名：小野田 泰明 主 査 名：岸本 達也
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>「設計技術」の根本に立ち返り、設計に役立つ技術に注目し、中でも「Evidence-Based Design (根拠に基づく設計)」として、技術とその実践プロセスの体系的な理解に努める。関連研究とそれを用いた設計技術を整理し、その普及に努める。</p> <p>初年度：設計の研究事例の収集・整理を行う。〈建築以外の様々な Evidence Based な方法論と比較した建築における EBD の特徴の理解〉、〈EBD に共通する方法論および適用範囲の整理〉、〈EBD の具体的事例の収集と Evidence の整理〉</p> <p>2 年度：3 つの課題を継続するとともに、具体的事例から抽出される対象、観点、方法論に基づいた EBD の概念を整理する。さらに、得られた成果に基づいた現代の EBD 事例と可能性に関する出版を検討する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：那須聖 (東京工業大学) 幹事：岡本和彦 (東洋大学)、岸本達也 (慶應義塾大学) 委員：伊藤俊介 (東京電機大学)、加藤彰一 (三重大学)、金子弘幸 (鹿島建設)、熊澤貴之 (茨城大学)、倉斗綾子 (千葉工業大学)、高松誠治 (スペースシンタックス・ジャパン(株))、藤原紀沙 (宇都宮大学)、本間健太郎 (東京大学)、門内輝行 (大阪芸術大学)、山田崇史 (近畿大学)、吉村英祐 (大阪工業大学) 齋藤敦子 (コクヨ)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2020 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	課題〈EBD に共通する方法論および適用範囲の整理〉と〈EBD の具体的事例の収集と Evidence の整理〉に関して、公開の拡大小委員会を開催し、5 人の委員による研究・実践成果の発表会を行い、EBD の提要範囲の多様性を確認した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 活動成果の情報発信 2. 本務の多忙化による委員会活動の制限 (オンライン化により途中参加も可能となり、その点では本年度の方法は意義があった)